

【副理事長所信】

地域昇華委員会 担当

2019年度 副理事長 酒寄 貴光

昨年、(一社)真岡青年会議所は創立50年の大きな節目を迎え、本年度は51年という新たな道を歩みます。過去50年という大きな軌跡を背景に、「0」というスローガンの元、真岡青年会議所は新たなステージに上がる必要があると考えます。「0」から始めるということは、物事の根底をもう一度見つめ直し、地域にとって「真岡青年会議所がどうあるべきなのか」を考える必要があります。

真岡青年会議所は、長い歴史の中で、地域との関わりを密にとってきました。しかし、地域における認知度は残念ながら高いとは言えません。真岡青年会議所のメンバーは、この地域の一員であります。よって、地域昇華委員会が一年間、直接地域との関わりを作っていくことが重要であると共に、委員会メンバーが積極的に委員会活動に関わることも非常に重要であると考えます。副理事長として、委員会メンバーが一年間、積極的に委員会活動に関わっていけるよう全力でサポートいたします。

委員会というセグメントは、会社に例えられることがあります。似て非なるものであると考えます。徐々に組織体を作られていくわけでもなく、一年という短い期間の中で、委員会活動を行っていかねばなりません。信頼関係の構築、自己の役割認識、責任感の醸成など数多くの必要な要素があります。2019年度に入ってから、要素の構築を行うのでは、例会までのロードマップに間に合いません。2018年度より準備を始め、スムーズな委員会活動を行います。

過去、50年という大きな歴史を振り返り、設立当初の理念を感じ、軌跡を踏襲した上で「0」から作り上げるということは大きな責任を伴います。その責任を背中に背負って一年やり切った後には、メンバー全員が達成感を持ち、更なる地域貢献ができる人材となるように活動していきます。誰かの笑顔のために。